

BTMU CHINA WEEKLY

発行：三菱東京UFJ銀行 国際業務部 海外業務支援室

編集：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 海外アドバイザリー事業部 中国グループ 情報開発チーム

EXPERT VIEW:【日系企業のための中国法令・政策の動き】

今回は 2010 年 1 月中旬から下旬にかけて公布または施行された法令をとりあげました。一部それ以前に公布され、公表が遅れたものを含んでいます。

[規則]

○「財政部、国家税務総局、国家発展改革委員会の環境保護・省エネルギー・節水プロジェクト企業所得税優遇目録（試行）公布に関する通知」（財税[2009]166号、2009年12月31日発布、2008年1月1日施行）

○「税関総署、財政部、国家税務総局、国家外貨管理局の河南保税物流中心の設立に関する同意」（署加函[2010]18号、2010年1月7日発布）

○「財政部、国家発展改革委員会、工業情報化部、公安部、商務部、国家工商行政管理総局、国家品質監督検閲検疫総局の自動車下郷政策の継続実施に関する通知」（財建[2010]4号、2010年1月8日発布・実施）

○「国家税務総局の『研究開発機構国産設備税額還付管理弁法』の印刷・発布に関する通知」（国税発[2010]9号、2010年1月17日発布、2009年7月1日～2010年12月31日暫定施行）

○「税関総署公告 2010 年第 5 号（加工貿易銀行保証金台帳電子化ネットワーク管理業務拡大の関係問題について）」（2010年1月20日公布、同年2月1日実施）

○「外商投資パートナー企業登記管理規定」（国家工商行政管理総局令第47号、2010年1月29日公布、同年3月1日施行）

「企業所得税法」と同「実施条例」で、3 免 3 半減の優遇が適用される環境保護・省エネ・節水プロジェクトの目録公布に関する通知。同日録については、財政部の HP（下記）をご参照。

http://szs.mof.gov.cn/shuizhengsi/zhengwuxinxi/zhengcefabu/200912/t20091231_255390.html

河南省初の保税物流中心の設立認可通知。全国で 26 番目、中西部地区では西安、成都、長沙、南昌、山西、武漢、南寧に続く。開業は、土地使用手続き、区域封鎖、事務施設の完成を経て、税関総署など関係部門の検収合格後とされる。

昨年12月の国務院第91回常務会議で決定された消費拡大策の1つである自動車下郷（農民の自動車購入に対する補助金交付）政策の延長通知。自動車は2010年12月31日まで、オートバイは2013年1月31日まで実施する。具体的条件は、昨年の「自動車・オートバイ下郷操作細則」と同じ。（その要点については、本誌2009年7月1日拙稿記事をご参照。）

研究開発機構に対する優遇措置の1つである国産設備購入にかかる増値税還付の手続きを定めた規則。還付申請は増値税専用發票発行日から180日以内に行う、税務局の監督管理期間（5年）内に売却又は他の用途に使用する場合は減価償却後の価格に税率を掛けた金額を追納する、など。

昨年8月1日から北京、青島、合肥、汕頭の4地区で試行されている銀行保証金台帳の開設・変更・抹消手続きのネットワーク処理方式を全国で実施するもの。なお、台帳開設銀行は、従来の中国銀行に中国工商銀行が追加される。

昨年11月に公布された「外国企業・個人の中国国内におけるパートナー企業設立管理弁法」（国務院令第567号、2010年3月1日施行）に基づく登記規則。パートナー企業は日本の投資事業有限責任組合に類似した組織（ただし法人格あり）で、外国企業・個人による投資ファンドの設立を奨励する政策により法制化された。本規定は、上記弁法で設立は工商行政管理部門への直接登記による（商務部門の審査認可は不要）と規定されたのを受けて制定されたもの。

CHINA WEEKLY

WEEKLY DIGEST

【経済】

◆**IMF、世銀 2010 年中国経済成長予測を上方修正**: IMF(国際通貨基金)と世界銀行が発表した「世界経済見通し」の中で、2010 年の中国 GDP 成長率について、IMF は昨年 10 月予測から 1.0 ポイント引き上げて 10.0%、世銀は昨年 11 月予測から 0.3 ポイント引き上げて 9.0%、いずれも上方修正した。両機関とも、大規模な景気刺激策と力強い内需に支えられ、今年も中国は活発な経済活動が続くとの見方を示している。

◆**地方政府 2009 年の各地経済実績を発表**:

中国の 31 省・自治区・直轄市政府が発表したデータによると、2009 年の GDP 成長率は、内モンゴル自治区が 16.9% で首位、次いで天津が 16.5% となった。3 位から 10 位までの地域の殆どが中西部であったのに対し、沿海部の広東省、浙江省、上海市は 1 桁の成長に止まり、沿海地域が成長の原動力となっていた従来の経済発展構造に変化が見られた。一方、地方が独自に算出した GDP の合計値は中央発表の全国値を超えており、国家統計局は中央主導の計算方式の策定を進めている模様。

2009 年全国各地の GDP 成長率

単位(%)

順番	省・自治区・直轄市	GDP 成長率	順番	省・自治区・直轄市	GDP 成長率	順番	省・自治区・直轄市	GDP 成長率
1	内モンゴル	16.9	12	安徽	12.9	23	北京	10.1
2	天津	16.5	13	江蘇	12.4	24	青海	10.1
3	重慶	14.9	14	チベット	12.1	25	甘肅	10.0
4	四川	14.5	15	雲南	12.1	26	河北	10.0
5	広西	13.9	16	福建	12.0	27	広東	9.5
6	湖南	13.6	17	山東	11.9	28	浙江	8.9
7	陝西	13.6	18	海南	11.7	29	上海	8.2
8	吉林	13.3	19	寧夏	11.6	30	新疆	8.0
9	湖北	13.2	20	黒竜江	11.1	31	山西	6.0
10	江西	13.1	21	貴州	11.0			
11	遼寧	13.1	22	河南	10.7			

出所:各地政府の公表データより作成

【産業】

◆**2009 年工業生産 11% の増加 10 大産業調整振興計画も進展**: 工業・情報化部が 1 月 27 日に発表したデータによると、2009 年の一定規模以上工業生産(付加価値ベース)は前年比 1.9 ポイント下落して+11.0% となった。但し、四半期ベースでみると、それぞれ+5.1%、+9.1%、+12.4%、+18.0% と年後半に向かい大幅に回復した。分野別では、重工業が+11.5%、軽工業が+6.6%、地域別では、東部+9.7%、中部+12.1%、西部+15.5% となった。また、昨年発表された 10 大産業調整振興計画(*)の実施により、生産減少局面から上向きに転じ、産業構造の調整も進展したと述べた。鉄鋼や自動車業界では再編が進み、各社の生産規模が拡大するなど産業集約度が向上したとしている。さらに、製鋼、製鉄、セメント等の旧式設備の淘汰が進み、2009 年の目標を基本的に達成したとしている。なお、今年の工業活動については、11 次 5 ヶ年計画の達成と 10 大産業調整振興計画の展開が鍵になるとし、通年の工業生産目標を+11% に定めた。

*10 大産業調整振興計画の対象業種:自動車、鉄鋼、電子通信、紡績、石油化学、非鉄金属、物流、船舶、設備製造、軽工業。

◆**2009 年末失業率は 4.3% 新卒就職率は 87%**: 工業・情報化部は 1 月 22 日、2009 年の雇用状況について記者会見を開き、新規就業者数は目標の 900 万人を大幅に上回る 1,102 万人、2009 年末時点の都市部登録失業者数は 921 万人、失業率は 4.3% であったと発表した。また、雇用情勢の逼迫が問題となっていた新卒者の雇用については、政府の就職援助サービスやインターン推進等により、就職率は 87% となった。

【金融・為替】

◆**人民銀行 第 4 四半期のマクロ経済情勢を発表**: 人民銀行は 1 月 29 日、2009 年第 4 四半期のマクロ経済情勢について、①成長の回復が持続、②工業企業の利益が引き続き改善、③内需が安定的に増加、外需も改善、④雇用情勢の好転、⑤物価の全面的上昇、不動産価格の急騰、⑥マネーサプライの急増等の傾向が見られるとの分析を発表した。また、2010 年の経済見通しについて、回復傾向が固まりつつあるとの見方を示したほか、適度な金融緩和と政策を継続しつつ、政策の柔軟性を高め、合理的な貸出の維持、貸出管理の改善、貸出ペースの把握に注力すべきと指摘した。

◆**銀監会 貸出管理強化を表明**: 1 月 26 日、銀監会(銀行業監督管理委員会)が開催した「2010 年第 1 回経済金融情勢分析報告会」で、劉明康主席は今後、銀行の貸出に対する管理を強化することを明らかにした。具体的には、①貸出量のコントロール・貸出ペースの把握等の管理強化、②不動産貸出業務の監督管理と窓口指導の強化、③地方政府保証の融資に対する信用リスク評価の実施、シンジケートローン推進による貸出集中リスクの防止、④業種により奨励、抑制を行う選別的な政策の実施、⑤貸出資金の実体経済への流入確保、特に中小企業、三農(農民、農村、農業)、環境、消費促進、保障性住宅建設等の関連融資を重視、との方針を示した。

人民元の動き

日付	USD			前日比	JPY (100JPY)		HKD	前日比	EUR	Close	前日比	金利 (1wk)	上海A株 指数	前日比
	Open	Range	Close		Close	前日比								
2010.1.25	6.8268	6.8267~6.8273	6.8269	0.0000	7.5745	0.0141	0.8787	0.0002	9.6547	0.0032	1.3400	3245.00	-23.60	
2010.1.26	6.8267	6.8264~6.8275	6.8269	0.0000	7.5818	0.0073	0.8781	-0.0005	9.6180	-0.0367	1.6500	3166.19	-78.81	
2010.1.27	6.8269	6.8267~6.8274	6.8268	-0.0001	7.6312	0.0494	0.8779	-0.0001	9.5860	-0.0320	1.5700	3131.63	-34.56	
2010.1.28	6.8270	6.8268~6.8272	6.8269	0.0001	7.5521	-0.0791	0.8787	0.0008	9.5765	-0.0095	2.2000	3139.48	7.85	
2010.1.29	6.8270	6.8267~6.8270	6.8268	-0.0001	7.5842	0.0321	0.8789	0.0001	9.5308	-0.0457	1.8700	3134.75	-4.73	

RMB レビュー&アウトルック

今週の人民元は 6.8268 で寄付き後、前週同様当局による金融引き締め策への思惑がくすぶる中、上海総合株価指数が昨年 11 月以来となる 3,000 台を割り込んだ他、資金市場では旧正月を前に資金需要が高まり、短期資金市場で指標性の高い 7 日物レポ金利が前週末比引け値ベースで約 40bps 上昇した。ただいずれも人民元相場への影響は限定的となり、結局人民元は週初同様 6.8268 で越週した。来週も人民元為替相場は小動きを予想するが、中国では過去、大型連休直前に政策を発表し、連休中に市場の反応を分析した上で、混乱の鎮静化を図る手法が採られてきたことがあった。そういった意味で今年も旧正月の連休(為替市場は 2/13-2/21 まで休場)を控え、当局の動向に注意が必要だろう。(1 月 29 日作成)

(市場営業部 為替営業推進グループ グローバル営業ライン)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。宜しく申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。